

*KBI*の流れ

- 安黒試論として -

2001年4月

三週間コース 特別講義

安黒務

「KBIの流れ」の把握の手順

- 経営の枠組み
 1. JEC(スウェーデン・バプテスト系の流れである旧オレブロ・ミッション、現在インターアクトを含む)を中核としつつ、
 2. 自由クリスチャン伝道団(ノルウェー、デンマーク)
 3. フィラデルフィア・チャーチ・ミッション(USA)
 4. ベタニヤ・クリスチャン・アッセンブリー等による合同経営
- ペンテコステ・カリスマ・第三の波の群れからの学生が多い 表現と理解には多少の幅があるが、ペンテコステ・カリスマ的経験は自然な私たちで受容されている。

JECの「KBIの流れ」理解

- JECの「教会観」→ KBI理解「神学校観」
- 二種類の「教会観(もしくは神学校観)」
 - 信条的教会: 改革派、ルター派
 1. 詳細な信条が先にあり、
 2. それを受け入れる信仰者によって教会形成
 - 簡易信条型教会: バプテスト系
 1. 集められた信仰者によって
 2. 教会が形成される
 3. 詳細な信条はもたない

KBIの信仰告白

- 簡易信条型の神学校
 1. 聖書は (聖書観)
 2. 父なる神は (神論)
 3. イエス・キリストは (キリスト論)
 4. 聖霊は (聖霊論)
 5. すべての人は (人間論)
 6. 普遍的教会は (教会論)
 7. それぞれの地方教会は (教会論)

KBIの大枠と詳細な学び

- それだけに、教師も神学生も、ひとりひとりの主体的な神学研究が求められる
 1. 歴史神学 - 「福音主義キリスト教と福音派」宇田進著 - 自らの信仰のルーツ・アイデンティティの研究
 2. 組織神学 - 「キリスト教教理入門」M. J. エリクソン著 - 幅のある福音理解の中に自らを位置付ける神学的座標軸の探求

KBIの流れの輪郭

- 包括的な神学の視野からみたKBI
 1. 歴史神学の視点から
 2. 組織神学の視点から
- 特徴的な一点をボーリング作業のごとくに掘り下げたKBI(表現・ニュワンスの表面的相違と深い部分での共通項)
 1. 聖霊のバプテスマ(もしくは満たし)の位置付け・教理的意味合い
 2. 異言の賜物とアバ意識との関係づけ
 - 「イエスと御霊に関する一考察」安黒務

歴史神学のプリズムで分色されたKBI

- KBIの歴史神学的背景の研究

1. 使徒的キリスト教とKBI
2. 古代の正統教理とKBI
3. 宗教改革の三大原理とKBI
4. 敬虔主義運動とKBI
5. 自由教会の伝統とKBI
6. リベラリズムに対するKBI
7. 今日の福音派の動向とKBI

- KBI歴史神学参考資料

- 「補教師セミナー」録音テープ
- 「福音主義神学」講義テープ

組織神学のプリズムで分色されたKBI

- KBIの組織神学的輪郭の研究

1. 神学方法論とKBI
2. 啓示論・聖書論とKBI
3. 神論・神のみわざ論とKBI
4. 人間論・罪論とKBI
5. キリスト論・贖罪論とKBI
6. 聖霊論・聖霊のみわざ論とKBI
7. 救済論とKBI
8. 教会論とKBI
9. 終末論とKBI

- KBI組織神学参考資料

- 「キリスト教神学」M. J. エリクソン
- 「電子メール講義録」安黒務
- 「組織神学」講義テープ

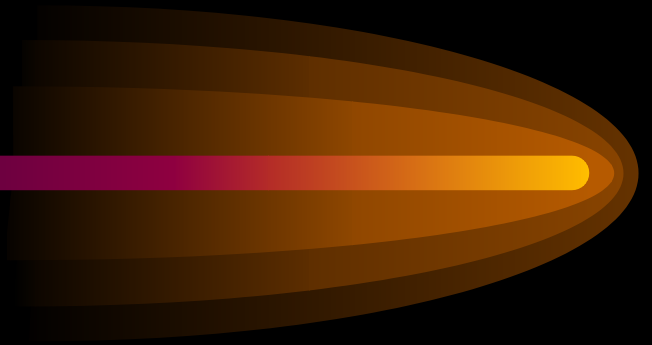
「召命論」の範疇での 聖霊のバプテスマ(もしくは満たし)の位置付け

- 歴史神学の一領域から
 1. 16世紀: 宗教改革の子孫として(義認)
 2. 18世紀: 敬虔主義運動の遺産として(聖化)
 3. 20世紀: ペンテコステ運動のスピリット(召命)
- 組織神学の一領域から
 1. 救済論: 救いの始まり - 義認
 2. 救済論: 救いの継続と発展 - 聖化
 3. 救済論と教会論の重複 - 召命

義認論

1. キリスト教における根本問題
 2. レビ記の主題
 3. ローマ3, 4章、出エジプト12章
 4. ヨハネ1章
 5. 刑罰代償説
- 電子メール講義録「第33章」安黒務

聖化論



1. 「キリスト者の標準」
2. ケズィック聖会のメッセージ
3. 知る、認める、ささげる、御霊に導かれて歩む、十字架を負う
4. Dana Robert, “Understanding W.Nee”
5. 電子メール講義録「第34章」安黒務

召命論

(聖霊の満たし、賜物論、派遣論、宣教論、その他 重なる概念領域)

1. 聖霊に満たされる
2. 使徒行伝
 1. 聖霊の特別の働き - 異言、預言、賛美
 2. 歴史家ルカ - 聖霊の突破作業
3. パウロ書簡
 1. キリストのからだを建て上げる特別な賜物
 2. 牧会的指導者パウロ - 御霊の充満の神学
 - ・ ヘンドリクス・ベルコフ「聖霊の教理」

御霊の充満の神学

1. ルカ - 外的結果の強調
 - 他者への伝達のための力として
2. パウロ - 教会の徳を高める
3. 御霊の満たし - 教会と世における御霊の前進的歩みの道具となるべく身支度を与えられること

御霊の実に加えて御霊の賜物

1. 御霊の働きのより広い、教會的、宇宙的な地平に参加させる道具
2. 義と認められ、聖化された者が、内側から外側に向けられること
 1. 使徒行伝 - 世に向けられる
 2. パウロ - キリストのからだ全体に向けられる

靈的成熟のしるし

1. 成熟とは、個性と関係

1. 義認 - 中心を占有
2. 聖化 - 人間性の全体を占有
3. 聖霊の満たし - 個性を占有

2. 個性

1. 私だけが持つ特別なしるし
2. 生全体のために私がなすべき特別な貢献

歴史家ルカと使徒パウロ

1. ルカ - 使徒行伝

- エクスタティックなもの、人間の制御の外にあるもの

2. パウロ - 書簡

- 信者はそれを制御できる

3. 義と認められ、聖化されたキリスト者は、 今やキリストのわざに参与すべく、証人 たるべく召されている

霊の賜物の多様性と個性の多様性

1. ローマ12章、 コリ12章、 エペソ4章
2. 超自然的賜物と自然的賜物
3. カリスマは性質上、変化する
 1. 個人の能力
 2. 歴史的・場所的状况
 3. キリストのからだと世の必要

教会のつとめ

1. 目立たぬ賜物を受けた人を励まし
2. 賜物を用いるときには愛によって制御
3. 全体としてキリストのからだを建て上げる

霊の賜物の多様性の意味

1. コリントの状況を繰り返すことなく
2. ペンテコステの日のようになくてはならぬ
3. パウロの光に照らして解釈し
4. 今日の教会の生活の必要に応じる

キリストのからだを愛する者

1. 共同生活の成長にそれぞれ特殊な貢献をすべきとの強い確信をもって教会生活を始めなければならない。
2. 神さまが、創造と摂理の中で「本来、意図されている真正の自分自身」となっていくように召されている
3. 聖書は「救いの書」であるだけでなく、「召命の物語」である
4. What is God's Plan for You?
5. 「KB」の流れ　義認・聖化・召命を確信させる流れ

ICIインフォメーション

- このホームページの種々の資料には、レジュメ付き：録音テープ・MDやブックレットがあるものが多くあります。関心のあるものがありましたら、気兼ねなく、安黒までお問合せください。